

JR九州グループの歴史

JR九州グループの遺伝子

1987年に、「日本国有鉄道」の分割民営化によってJR九州が発足しました。民営化当時は鉄道事業において約300億円の赤字を計上しており、鉄道事業の収支改善を進めるとともに、鉄道事業だけに依存してはいけないという思いを持って、様々な事業に挑戦し、成長を図ってきました。



● 第1回JR九州ウォーキング開催

● 鉄道記念館オープン



国際航路開設「ビートル2世」



中華レストラン「華都飯店」



ハウステンボスジェイアール全日空ホテル



ステーションホテル小倉



うまや

事業多角化への果敢な挑戦

- 初の分譲マンション「MJR笹丘」販売開始
- (株)ジェイアール九州ファーストフーズ設立

- 国際航路開設「ビートル2世」就航
福岡～釜山間
- 中華レストラン「華都飯店」開業

- 「JR内野カントリークラブ」開業
- 「ホテルブラッサム福岡」開業

- 「ハウステンボスジェイアール全日空ホテル」開業
※現ホテルオークラJRハウステンボス
- ジェイアール九州リーテイル(株)設立
- ジェイアール九州フードサービス(株)設立

- 「ステーションホテル小倉」開業
- 新小倉駅ビル(アミュプラザ)開業

- 「アミュプラザ長崎」開業、
「JR九州ホテル長崎」開業

- 「うまや」東京赤坂に開業
「JR九州ホテル鹿児島」開業

- JR九州高速船(株)設立

- 「アミュプラザ鹿児島」開業

鉄道付帯事業からの自立



アミュプラザ長崎



アミュプラザ鹿児島

多様で着実な事業展開

九州旅客鉄道株式会社発足

1987



- ダイヤ改正(1回目)
- 特急「ゆふいんの森」運行開始

- 大村線電化開業
(早岐～ハウステンボス間)

- 「駅長おすすめの“ゆ”」発売
- 宮崎空港線開業

- 初の運賃改定実施

- 豊肥本線電化開業(熊本～肥後大津間)

- 新・特急回数券「2枚きっぷ」「4枚きっぷ」登場
- 篠栗線・筑豊本線(福北ゆたか線)電化開業
(篠栗線全線、筑豊本線 折尾～桂川間)

- 総合指令システム(JACROS)完成

- 九州新幹線開業
(新八代～鹿児島中央間)

- 特急「はやとの風」、「いさぶろう・しんぺい」運行開始



ゆふいんの森



九州新幹線



いさぶろう・しんぺい

JR九州グループの歴史

● 安全創造館開設



● 東京証券取引所第一部上場、福岡証券取引所上場



● プライム市場へ移行

コロナ禍を経て新たな貢献領域への挑戦 >>>



地域と一体となったまちづくりを開始

九州域外における事業展開

不動産・ホテル

流通・外食

建設

ビジネスサービス



運輸サービス

